

7/31.3.2020

米が核「見せつけ威嚇」

「核兵器開発を實行するに
感動する」。米国は核使用
をちらつかせ相手を脅す
「核抑止」をインド・太平洋
洋地域で強化すると算計
し、これまで秘密裏に行つ
てきた核部隊の演習を、日
本を含むアジアでおかれて
まに演練し始めています。

米国首いなりで拡大抑止（核の傘）に大賛成の「被爆國日本」を拠点へ。核軍拡競争の危険が高まっていります。
今年に入り米軍は、これらの戦略的変化を々々着手。4月から、沖縄県の米軍嘉手納基地（嘉手納町）に米空軍第303戦闘飛行

バイデン米政権は昨年10月、核戦略の基本方針「核懲勢の見直し」(NPR)を公表し、「インド太平洋



被爆国首相、拡大抑止賛美

その5月、沖縄県の米海軍所屬のCH-53Eヘリコプター機がフィリピン海で、最大20発の核ミサイルを搭載可能な米海軍オハイオ級原子力潜水艦のロード・ブロードウェイ物資を降ろすなど補給を行いました。核ミサイル搭載可能な原子力潜水艦の巡航航路はこれまで秘密となっていましたが、補給の一部について明らかにした海兵隊の今回の報道発表は異例です。

核戦争の危険

米国は、核戦争の可視化を韓国との間でも進めてくる事を。バイデン米大統領は4月、韓国の尹錫悦(イン・ソクヨル)大統領とワシントン(ハンド)会談し、拡大細

インド・太平洋地域を念頭にした 米核戦略可視化の動き

2022年	10月	米核戦略基本方針「NPR」で核戦略部隊の「可視化」増大を発表
2023年	4月8日	B61核爆弾を投下可能なF15Eが沖縄県嘉手納基地に飛来
	同月26日	核抑止強化を目指す米韓ワシントン宣言を発表
	5月9日	沖縄県米海兵隊所属のCH53Eヘリコプター2機がフィリピン湾で最大20発の核弾道ミサイル搭載可能な米海軍オハイオ級原子力潜水艦、メインに補給
	5月19日	主要7カ国（G7）広島サミットで拡大抑止を正当化
	6月26日	日米拡大抑止協議
	7月1日	米核戦略可視化増大のため日米間協力で一致
	7月16日	米戦略原潜、ケンタッキーが韓国の済州島に入港
	同月23日	米海軍原潜、アナポリスが韓国の済州島に入港

「ふむ、一説があつた。ついでに核攻撃に備えた同様の機関を、壇場令部の艦艇（きよつていん）と化計画まで進めるなど、核戦争を想定した大掛拡を強調してしまふ。

SCBの原水爆禁止世界大会のテーマは「核兵器ないで、核武器のない平和」でも、公正是世界を「一」。被爆者たちの命を守るために活動するSCBは、核兵器禁止条約の締結国は82ヵ国、批准国は88ヵ国（アフリカのモーリタニアが未批准）、日本も内閣閣議決定で賛成表明を行つた。